

調査実施概要

回答者数：61,414人

- **実施対象** : 各府省等に勤務する国家公務員のうち、約3割の職員（ランダムサンプリング）
- **実施時期／方法** : 令和4年11月21日（月）～12月16日（金）の期間において、Webアンケート形式で実施
- **回答者の属性** : 【年代】30歳未満19.3%、30代21.9%、40代28.9%、50代以上29.9%
【勤務先】本府省等14.4%、地方支分部局等85.6%
【役職】指定職級・課室長級13.9%、課長補佐級・係長級・係員級（非管理職）86.1%

働き方改革

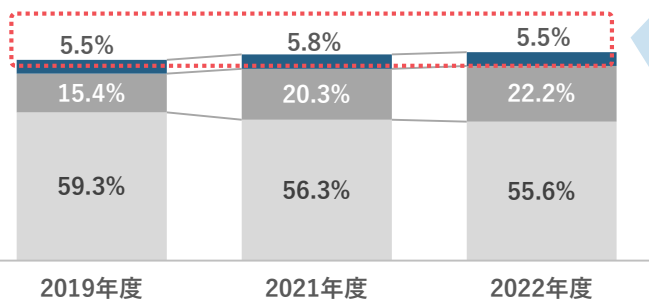
全職員のうち働き方改革が進んだ「実感あり」と回答した者は、昨年度から1.9ポイント増加し、**66.4%**。

※課室長級（管理職）：72.5%、非管理職：65.6%

※ 「かなり実感がある」～「全く実感がない」の6段階評価のうち、「かなり実感がある」「実感がある」「どちらかと言えば実感がある」の回答者。

勤務継続意向（全体）

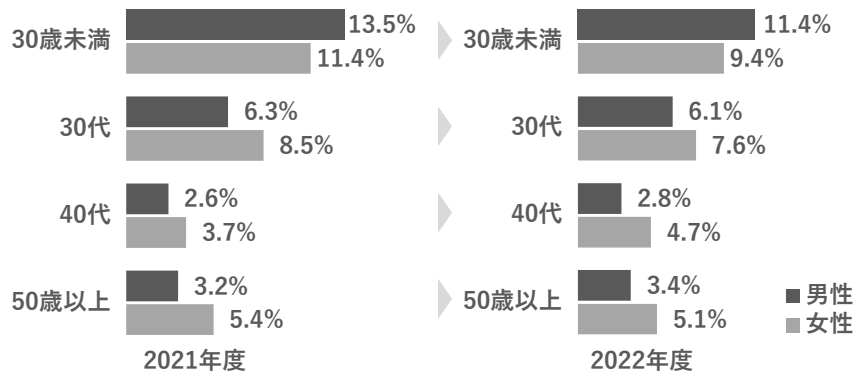
■ 定年まで継続勤務 ■ 定年より前に辞めたい



数年以内離職意向の内訳

- 3年程度のうちに辞めたい → **3.4%**
- 1年以内に辞めたい → **1.0%**
- すでに辞める準備中 → **1.1%**

数年以内の離職意向（年代別）※



※ 「3年程度のうち／1年以内に辞めたい」「すでに辞める準備中」の回答者（非管理職のみ）。

離職意向の要因※

	30歳未満		30代		40代		50歳以上	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
長時間労働が常態化しているから	25.6%	22.5%	32.2%	28.5%	26.5%	19.8%	9.0%	13.4%
収入が少ないから	42.4%	35.2%	37.3%	25.1%	25.1%	9.3%	13.6%	7.1%
ハラスメント等、職場の環境が悪いから	19.9%	19.9%	27.5%	28.0%	26.8%	21.5%	18.2%	18.8%
もっと自己成長できる魅力的な仕事につきたいから	45.8%	47.3%	47.4%	41.8%	35.0%	32.6%	18.8%	14.3%
仕事を通じて専門性・スキルが磨かれている実感がないから	31.9%	27.9%	39.8%	37.2%	30.3%	32.0%	15.1%	13.4%
社会に貢献している実感がないから	20.2%	20.1%	30.1%	22.6%	27.1%	16.9%	16.4%	11.6%
仕事を進める上で自分の強み（長所）を生かせないから	24.5%	25.8%	28.1%	30.1%	28.3%	28.5%	20.1%	16.1%
すでに十分働いたから	7.4%	9.5%	16.0%	15.5%	23.3%	25.6%	50.6%	60.7%
今後キャリアアップできる展望がないから	32.6%	24.8%	38.8%	37.2%	39.9%	30.2%	23.5%	13.4%
自分の仕事ぶりが周囲の人に評価されないから	11.0%	8.0%	14.0%	11.3%	16.3%	13.4%	15.1%	14.3%

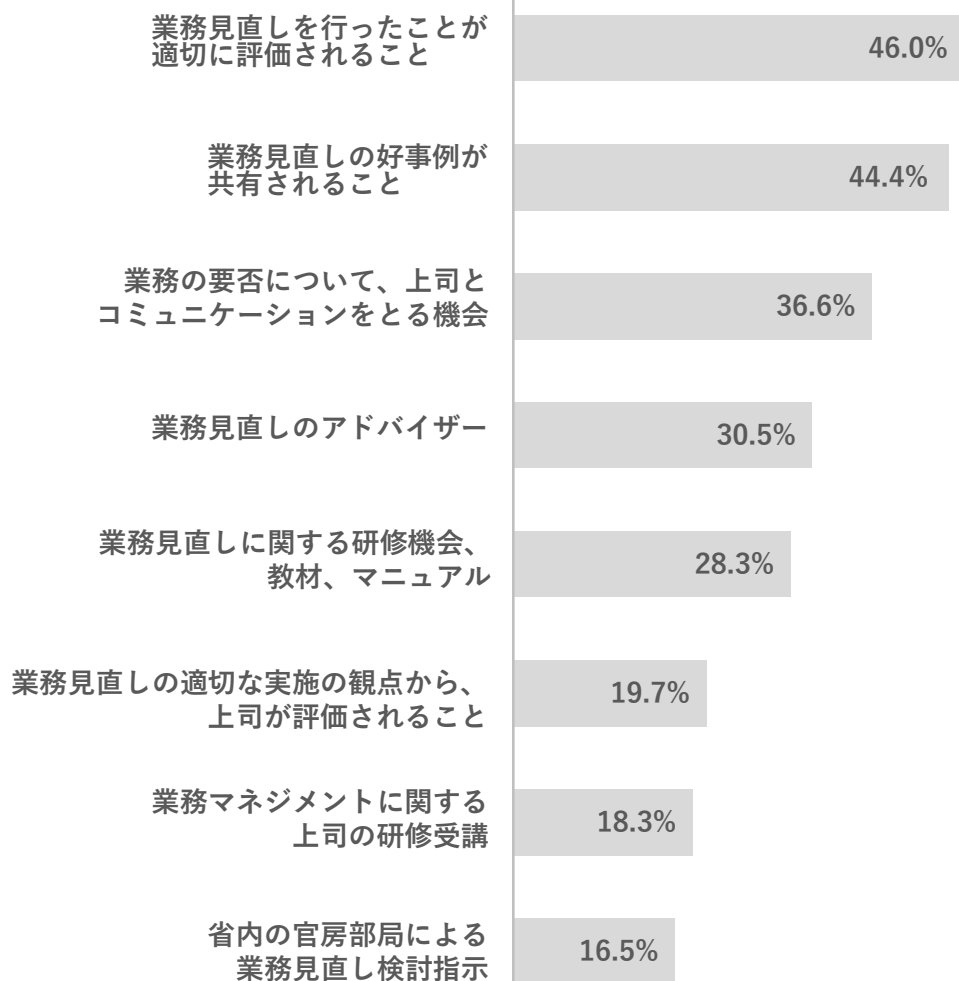
※ 「3年程度のうち／1年以内に辞めたい」「すでに辞める準備中」の回答者（非管理職のみ）。各設問について、あてはまるものを全て回答。

業務見直し・テレワーク

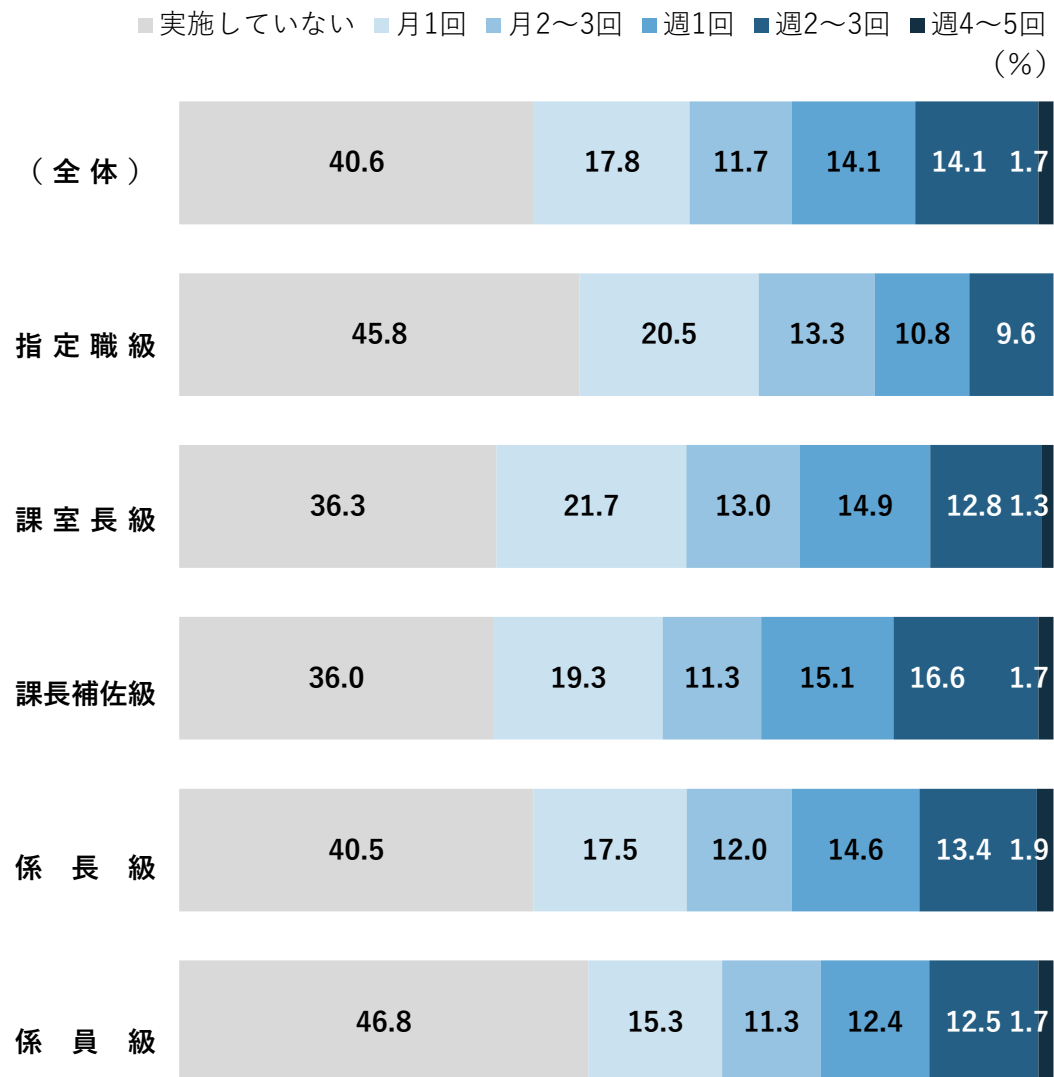
現在の部署において業務見直しを実施した職員

管理職	非管理職
45.1%	33.1%

業務見直しを進めるために重要だと思う取組※



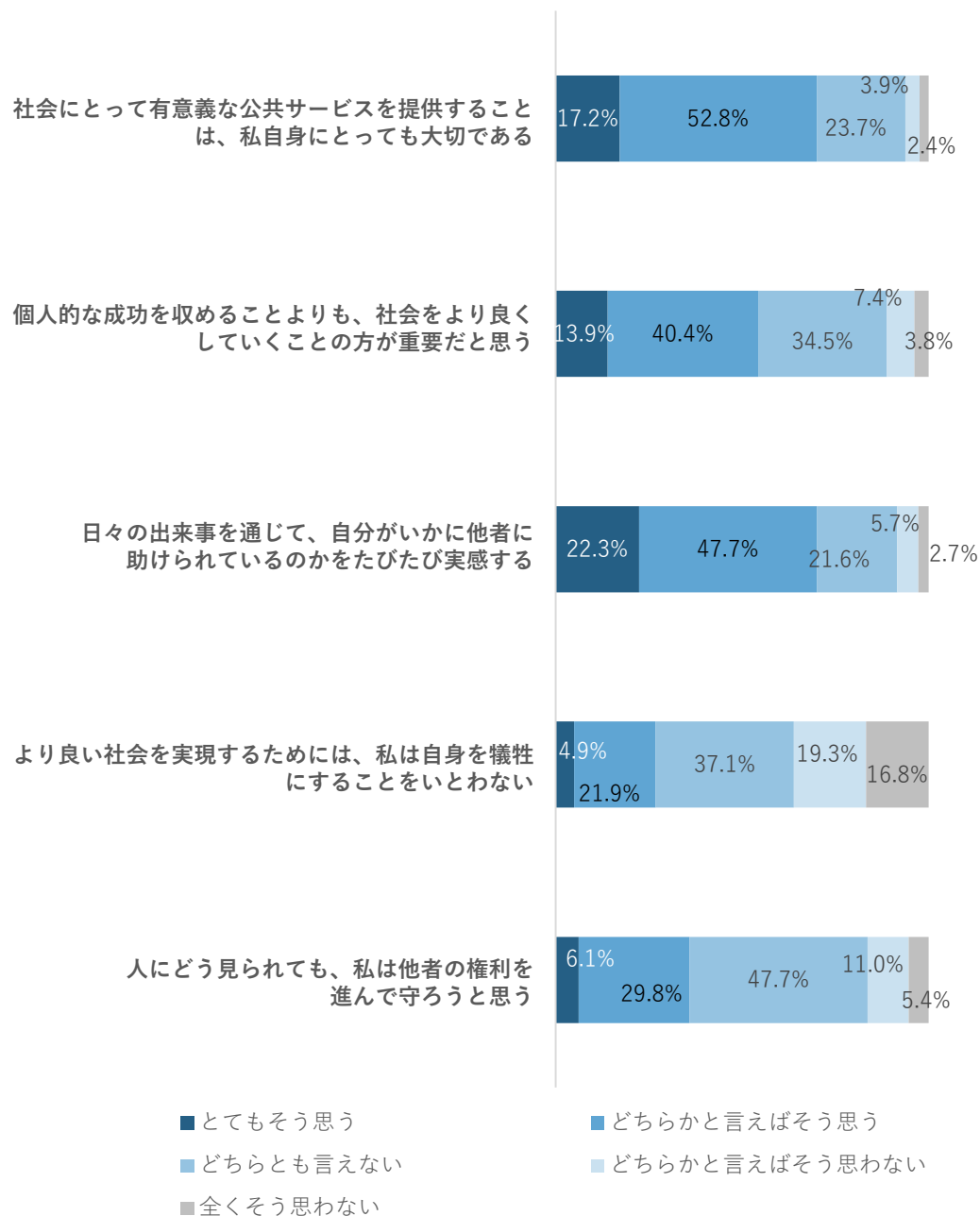
テレワーク実施割合（本府省等のみ、役職別）



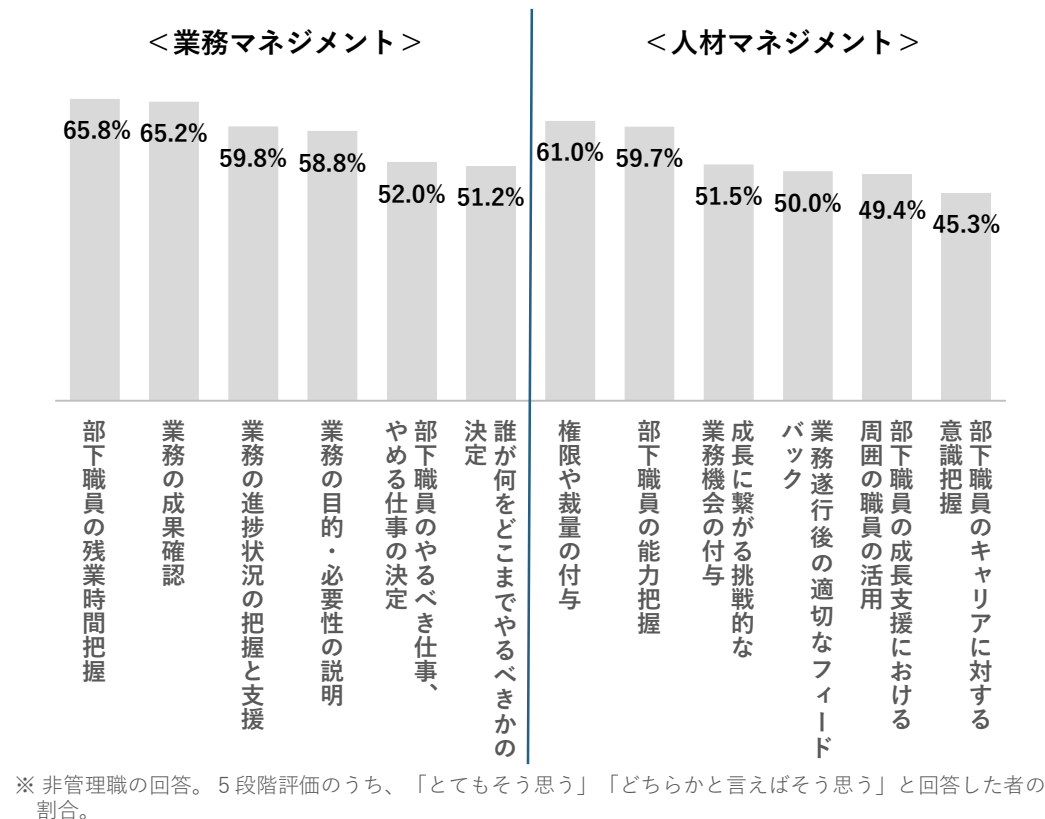
※ あてはまるものを全て回答。

エンゲージメント/マネジメントの実施状況

現在の仕事に対する実感



上司にあたる管理職のマネジメント行動の実施状況



新しい働き方へのニーズ

新しい働き方について、「魅力的である」と回答した者の割合が高い上位3件の取組は、以下のとおり。

- フレックスタイム制を用いた勤務日数の柔軟化の導入 **64.5%**
(基本給・週の総労働時間は変更なし)
- 勤務を継続しながらの自己啓発支援 (国内大学院進学や資格取得等) **56.7%**
- テレワーク等を活用した、地方に住みながら本省の仕事を行える勤務形態の創設 **48.1%**

※ 5段階評価のうち、「とても魅力的である」「どちらかと言えば魅力的である」と回答した者の割合。